

第 1 回 東京 2025 デフリンピックに係る大会準備実務者会議
(議事要旨)

1 開催日時

令和 7 年 9 月 10 日 (水曜日) 13 時 30 分から 14 時 30 分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎 33 階北塔 特別会議室 N 1

3 構成員等

○構成員

(一財)全日本ろうあ連盟	河原 雅浩	副理事長
東京都 スポーツ推進本部	渡邊 知秀	本部長
(一財)全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会	久松 三二	委員長
(公財)東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部	小室 明子	本部長

○事務局

東京都

4 要旨

○全日本ろうあ連盟 河原副理事長

- ・ただいまから、第 1 回東京 2025 デフリンピックに係る大会準備実務者会議を開会する。
- ・私、全日本ろうあ連盟副理事長の河原が進行を務めさせていただき、よろしくお願い申し上げます。
- ・それではまず、事務局より、本会議の設置目的などについて説明をお願いする。

○事務局 清水部長

- ・会議の設置目的についてご説明する。
- ・大会運営の実務については、大会の責任主体である全日本ろうあ連盟が東京都との間で締結した協定に基づき、全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会と東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部が所管し、これまで検討を進めてきた。
- ・いよいよ大会準備が大詰めを迎える中、関係者間で計画内容を共有し、大会の円滑な運営と成功に向け、実務的な最終確認を行うことを目的として設置したものである。
- ・なお、実務的な議論も含まれることから、会議は非公開とするが、一方で、東京大会としてしっかり準備を進めていることを対外的に示していくことも重要であるため、会議資料や議事要旨は後日ホームページで公開する予定である。

○全日本ろうあ連盟 河原副理事長

- ・続いて、各委員から自己紹介をお願いします。
一名簿順に各委員より挨拶。
- ・それでは、議題について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 清水部長

- ・議題1 会議の設置目的等について、資料に沿って説明。
- ・議題2 手話言語通訳者の養成について、資料に沿って説明。
- ・議題3 輸送・宿泊について、資料に沿って説明。
- ・議題4 選手・関係者向けのサービスについて、資料に沿って説明。

○全日本ろうあ連盟 河原副理事長

- ・議題の内容について、質問や意見等があれば伺いたい。

○東京都 渡邊本部長

- ・説明を聞いて、様々な取組を進めていることが確認できた。
- ・輸送サービスや飲食は運営上重要な要素であり、同時に選手団から不満が出やすい部分でもある。
- ・過去大会と比べて、今大会のサービスレベルをご教示いただきたい。

○デフリンピック準備運営本部

- 東京2025大会の輸送における選手団の負担軽減策を説明。
- 東京ならではのきめ細やかな飲食サービスについて説明。

○東京都 渡邊本部長

- ・輸送、宿泊の準備状況について、了解した。
- ・手話言語通訳者、情報保障については、過去大会と比べてどうかご教示いただきたい。

○デフリンピック運営委員会 久松委員長

- 過去3大会の手話言語通訳者数及び、今大会において国際手話通訳者と日本手話言語通訳者あわせて約200人を養成したことを説明。

○東京都 渡邊本部長

- ・承知した。手話言語通訳者についても過去大会よりも良い準備がされていることが確認できた。
- ・東京ならではのおもてなしは大切である。一方で、サービスレベルが高いことイコールよいことでもない。今後の開催国への負担とならないよう配慮することも、持続可能な大会

とするためには必要であると考える。

- ・東京大会としてきちんと進めている取組について、メディアに対して積極的に発信していくべきと考える。世の中の多くの皆様に広く知っていただけるよう、委員の皆様と協力しながら取り組んでいきたい。

○全日本ろうあ連盟 河原副理事長

- ・ありがとうございます。他に何か質問や意見等があれば伺いたい。

○東京都 渡邊本部長

- ・大会本番に向けて、また大会本番で様々なご意見等が寄せられることが予想されるが、それらを受け止め、全日本ろうあ連盟、東京都、東京都スポーツ文化事業団の三者が一体となって、誠実に対応・説明していくことが重要である。

○全日本ろうあ連盟 河原副理事長

- ・関係者間で情報を共有しながら、連携して対応を進めていきたい。
- ・ホテル、バスについての情報保障、国際手話での対応についてご教示いただきたい。

○デフリンピック準備運営本部

ーホテルやバス乗降所における、タブレットを活用した情報保障の検討状況について説明。

○デフリンピック運営委員会 久松委員長

- ・国際手話通訳者は、主に競技会場に配置予定である。
- ・国際手話通訳者が不足しているホテルや空港等については、ICT 技術を活用したコミュニケーションでのフォロー、仕組みを検討していただいているという認識である。

○全日本ろうあ連盟 河原副理事長

- ・本日の議題は以上。この内容で進めることで合意とさせていただく。
- ・大会準備運営に関する詳細やサービスレベルについて、しっかり準備できていることを4者で確認することができた。
- ・本日説明のあった取組については、今後、各々の団体が様々な機会を通して発信していくことで、選手や多くの方々の東京大会への理解を深め、大会の価値を高めることにつながるものとなる。
- ・引き続き皆さんの協力をお願い申し上げます。